

令和8年11月号

かしわら市議会だより

No.237

目　次

■ 令和8年第3回定例会の概要、決算審査 …… P.2~3
■ 議案・一般に対する代表質疑・質問 …… P.4~7
■ 議決結果、その他 …… P.8

令和８年第３回定例会

▶令和8年第3回定例会は8月27日から9月28日の33日間の会期で開催し、合計19件の市長提出議案及び議会提出案件を審議しました。

議案第67号　令和8年度柏原市一般会計補正予算（第4号）

原案可決

一般会計補正予算（第4号）の一部を紹介します

▶デジタル多世代交流事業委託料　1,500 万円

将来のデジタル人材の育成に資するため、デジタルコンテンツ「マインクラフト」を教材にしたワークショップを市民交流センターで実施するもの。



令和7年度 決算の審査概要



決算認定の審査では、今後の予算編成や財政運営に活かすため、予算がどのように使われ、どのような成果を上げたのかなどをチェックします。

総務産業委員会

平和事業

Q 令和7年度は戦後 80 年ということでどのようなテーマ、内容で平和展を開催されたのか問う。

A 「戦時下の暮らし～永遠の平和を願って～」をテーマに開催した。主な内容は、市所有の実物資料、パネルの展示に加え、ピースおおさか、堺市立平和と人権資料館よりパネルや実物資料を借用し、展示した。

自治体 DX 推進事業

Q 基幹系システム標準化対応業務委託料として 2 億 2,233 万 2,000 円が執行されているが事業の内容と、令和7年度末の時点での標準化への対応状況について問う。

A 対応状況としては、基幹 20 業務のうち、事業所のリソース不足により作業が遅れた1つのサブシステムを除き、努力目標とされた令和7年度末までに移行を完了し、本年6月までには全ての標準化対象システムについて移行を完了している。

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会負担金

Q 令和7年度（2025 年度）に実施した主な事業内容と亀の瀬地すべり歴史資料室を訪れる来訪者数の推移を問う。

A 観光ガイド育成事業、龍田古道・亀の瀬インナーフェス事業､ご当地商品開発事業などを実施した。来訪者数は、令和7年度は2万 920 人､月平均では約 1,743 人となった。令和8年度は4月から8月までの5か月間で 9,559 人、月平均では約 1,911 人となっており、このままのペースで推移した場合、令和7年度を上回る来訪者数になるものと見込んでいる。

総務産業委員会の詳細はこちらからご確認いただけます。

西名阪自動車道周辺道路網調査業務委託料

Q 令和7年度に行った事業内容について問う。

A スマートインターチェンジの新規事業化に向けた国土交通省、大阪府、NEXCO西日本、大阪府警察本部などの関係機関との協議資料作成や事業費の算出、アクセス道路となる市道石川東線の交通安全対策における現状の分析等課題の抽出、課題に対する対策案の検討などを行った。

玉手ポンプ場周辺浸水対策工事

Q 頻発する大雨に対して、玉手ポンプ場周辺で行ったような既存施設の有効活用や分水などの対策をどのように広げていくのか問う。

A 既存施設を活用して降雨時に雨水を一時的に貯留することで河川や雨水管渠への流出量を抑えるピークカットや、既存の雨水管渠の流下能力等を検証した上で比較的余裕のある雨水管渠へ雨水を分水するなど、既存ストックを有効に活用した対策についても検討する。

消防団運営費

Q 本市消防団員の現状をどのように捉え、また、団員減少によってどのような課題が生じると認識しているのか問う。

A 消防団は、地域の地理や住民を熟知した方々によって構成されており、火災時の消火活動のほか、災害時における警戒活動、平常時の防災訓練や啓発活動など、地域防災力の向上に重要な役割を果たしている。団員数の減少が進むと、災害時の初動対応や地域における防災活動の担い手が不足するため対応策を講じる必要があると考えている。



厚生文教委員会

生活困窮者自立支援事業

Q 委託料が増額した理由と、らいふあっぷにおける令和7年度の相談実績について問う。

A 生活困窮者相談窓口らいふあっぷを市役所1階に設置し、経済的な問題や不安のある方からの相談を受け、生活再建に向けた支援を行っている。委託料が増加した理由は、人件費の増加によるもの。らいふあっぷの令和7年度の実績は、新規相談件数が 168 件、うち支援プランの作成数が 87 件である。

ファミリーサポートセンター事業運営業務委託料

Q 昨年度の利用件数と近年の登録者数の推移を問う。

A 昨年度の利用回数は、464 回となっている。令和7年度末時点の登録会員数は 280 名で、このうち依頼会員は 212 名、援助を提供する提供会員は 68 名であった。令和6年度末の登録会員数は、依頼会員が 272 名、提供会員が 70 名の合計 342 名となっており、令和7年度と令和6年度を比較すると約 18%の減となった。

がん患者医療用補正具購入費助成金

Q 令和7年度のこの助成の実績について問う。

A 令和7年度の助成実績といたしましては、29 名に対し助成を行い、内訳は、医療用ウイッグに対する助成が 27 件、乳房補整具に対する助成が3件であり、助成額は合計で 26 万 5,060 円となり、予算額 30 万円に対する執行率は 88.4%である。



廃蛍光灯収集運搬処理処分業務委託料

Q 令和7年度決算における業務概要について問う。

A 市内小・中学校 15 校で使用済みとなった水銀使用製品である蛍光灯を適正に処理するため、最終処分が可能な業者に業務を委託して行ったもの。事業決算は、1キログラム当たり税込み 220 円の単価で事業者と契約し、小学校は処分量 473 キログラム、10 万 3,950 円、中学校は処分量 243 キログラム、5万 3,460 円であった。

小学校・中学校就学援助費

Q 学用品扶助費について令和7年度では、小学校では 345 万 2,449 円、中学校では 439 万 7,901 円となっているが、前期、後期でそれぞれどれぐらい支給されたのか問う。

A 小学校における学用品費の支給額は、前期が 166 万 4,243 円、後期が 178 万 8,206 円、合計 345 万 2,449 円であり、中学校における支給額は、前期が 217 万 917 円、後期が 222 万 6,984 円、合計 439 万 7,901 円であった。

成人式開催事業

Q リビエールホールから柏原中学校体育館へ会場を変更して開催されたが参加人数や参加率はどのような状況であったか問う。

A 令和7年度の成人式～はたちの集い～は、設備の老朽化によるリビエールホールの休館に伴い、柏原中学校体育館を会場とし、開催した。当日の参加者数は、男性 223 人、女性 183 人、合計 406 人で、対象者に対する参加者は 65.6%であった。

厚生文教委員会の詳細はこちらからご確認いただけます。



市役所まで行けない、そんなときは…

自宅やスマホで市議会が見れます

◆ YouTube（ライブ中継・録画）※本会議及び常任委員会

◆映像配信ウェブサイト（録画）※本会議のみ

YouTube のライブ配信 & インターネット録画配信

YouTube のライブ配信では、パソコンやスマートフォンで、リアルタイムで柏原市議会を見ることができます。また、本会議終了数日後に、当日の映像を YouTube と映像配信ウェブサイトで録画配信をしています。詳しくは上の2次元コードからご確認ください。

柏原市議会では、フェイスブックで議長の公務の様子などを発信しています。定例会・今後の予定なども定期的に更新していますので、ぜひフォローしてください。また、市議会のウェブサイトには、議案書や会議結果なども掲載していますのでご確認ください。

Facebook で議会の予定など発信しています

日本共産党

公共施設


市民文化センター

リビエール改修と文化センター改築に戻せ

議会議決を尊重すべき

問 市民文化センター長寿命化改修工事設計業務委託料5500万円を執行した経緯と内容を問う。

答 当初、長寿命化改修工事を実施する方針の下、必要な予算措置を講じ執行した。内容は、構造計画や設備計画等の基本設計と工事費積算に向けた実施設計である。

問 基本設計のコンセプトには「『地域（まち）に開かれる生涯学習・文化情報の拠点』づくりを実現」と書かれている。市民と作りあげた改築計画では費用約17億円、工事期間15カ月の予定とある。工事を実施していないのはなぜか。

答 改修予定のリビエールホールで設備の故障が相次ぎ、本市の厳しい財政状況下で両施設を同時に整備することは困難であることから整備計画を見直した。検討を重ねた結果、行財政改革推進本部で新たな整備方針案を内部決定したため工事の着手には至らなかった。

問 文化センターの改築は見直されたが、リビエールホールの空調設備やトイレ洋式化等の改修工事も実施していない理由を問う。

答 設計業務開始後に設備機器の不具合が相次ぎ、多額の工事費用が必要となったため、新たな整備方針案を検討することとなった。

問 リビエールホールも予想外の老朽化と多額の費用を要するため内部決定により改修をやめた。本来なら今年9月のオープンであった文化センター、リビエールホールの整備方針の検討状況を問う。

答 市民説明会を5回開催したほか、アンケート等を行い、寄せられた意見や要望の整理をしている。

問 文化センターは3階建てだが、新築複合化案では2階建てに縮小される。内部決定であるならリビエールホールの改修と文化センターの改築に戻す考えはあるのか。

答 財政状況や持続可能な公共施設のあり方等総合的に勘案し、整備方針の決定につなげていきたい。

要望 これまで質問してきた数々の事実から新築複合化案を前提として進めているとしか思えない。議会で可決したリビエールホールの改修と文化センター改築の予算を反故にして、内部決定を優先させることは議会軽視であり議会制民主主義の否定である。市長の責任は極めて重い。それぞれの改修と改築計画に戻すよう要望する。



公明党



道路整備　健康

産学官連携による健康づくりを

楽しみながら健康に

問　「かしわら健康大学」について、具体的な内容を問う。

答　かしわら健康大学は、運動・栄養・休養を総合的に学んでいただけるよう、バランスコース、高齢者向けコース、運動重視コース、運動が苦手な方向けコースの4コースを設定している。受講科目としては、市の運動・栄養教室やスポーツ教室を設定するほか、関西福祉科学大学で学べる科目や事業連携協定を締結しているカーブスジャパンが提供する健康に関する動画視聴を科目に加えることで、産学官連携による楽しみながら健康づくりに取り組んでいただける事業となるよう準備を進めている。

要望　大阪府が実施しているおおさか健活マイレージ「アスマイル」は、毎日の簡単な健康づくり活動でポイントがたまり、楽しみながら自然と健康づくりができる無料のスマートフォンアプリである。このアスマイルとかしわら健康大学をうまく連動させることでより良いものになると考える。引き続き、調査・研究の上、健康づくりを推進していただくよう要望する。

新たな人の流れ、モノの流れを

柏原の未来を描く

問　柏原スマートインターチェンジの進捗について問う。

答　大阪初のスマートインター整備を目指し、設置に関する構造的な検討や概算事業費の算出などを行い、令和6年に国土交通省より、準備段階調査の決定を受けた。今年度は関係機関との協議が整ったため、「地区協議会」を開催し、国土交通省に対し、実施計画書及び連結許可申請書を提出した。

問　国道25号大阪柏原バイパス、柏原スマートインターチェンジの整備を踏まえて、柏原のまちづくりをどのように進めるのか問う。

答　これらの事業は、渋滞緩和のみならず、新たな人・モノの流れを生み出す柏原のまちを大きく発展させる事業である。最大限の効果が発揮できるよう観光・産業・防災を有機的につなげられるよう取り組んでまいりたい。

要望　道路網の整備は企業誘致の観点からも重要な役割を果たしている。企業誘致が進めば税収がもたらされると共に新たな雇用が生まれる。企業誘致を目的としたまちづくり調査の検討を要望する。

大阪維新の会



道路整備　財政運営

令和7年度決算と財政運営

「稼ぐ力」の強化

問 令和7年度の実質収支が前年度と比較して約2億円増加した要因と、この大幅な改善をどのように評価しているのか問う。

答 実質収支が増加した主な要因は、歳入面で地方交付税の追加交付や市税の大幅な増加があったこと、歳出面で公債費や貸付金等が減少したことである。今回の改善に対する評価としては、景気の動向を受けた市税等の増加による歳入面での影響が大きく、財政構造の改善が主な要因でないため、一時的なものと捉えている。

問 決算を踏まえ、今後、市が政策的に活用できる財源をどのように確保していく考えなのか問う。

答 事業の見直しやＰＰＰの推進、ふるさと納税の強化等を進める。

要望 一時的な収支改善に安心することなく、ぶどうやワインなど地域資源を活かしたふるさと納税の拡充や、企業誘致、地域産業の活性化による継続的な市税収入の増加に向けた取組を推進し、柏原市独自の「稼ぐ力」を高め、持続可能で安定した財政基盤の構築に取り組んでいただくよう要望する。

柏原スマートＩＣの早期実現に向けて

事業化へ前進

問 令和8年度の取組を問う。

答 国土交通省等へ協議・要望活動を行うとともに、地区協議会を開催し、国土交通省に実施計画書及び連結許可申請書を提出した。

問 スマートＩＣの整備前後で円明企業団地から奈良方面への所要時間がどのくらい短縮されるのか。

答 西名阪自動車道へのアクセスが向上するため、法隆寺ＩＣまでの所要時間で比較すると約30分の時間短縮になると想定している。

問 今後のスケジュールを問う。

答 国土交通省による事業化後にＮＥＸＣＯ西日本と本市で事業協定を締結し、早期完成を目指す。

要望 本事業は産業・観光振興・渋滞緩和・防災強化など大きな効果が期待でき、関連事業の田辺旭ヶ丘線との相乗効果で事業効果はさらに高まる。また、市長をはじめ柏原市商工会・柏原羽曳野企業団地・府議会議員・大阪府職員の「オール柏原」で国土交通省へ熱意を伝えるなど、地元企業からも早期事業化が期待されていることから、引き続き早期の完成を目指して推進していただくよう求める。

政新会

防災



多発する想定外の災害に備える

地域の災害リスクを知る

問 全国で想定を上回る災害が発生し、被害をもたらしている。2026年版総合防災マップを作成されたが、市民への周知方法と想定区域外における防災対策を問う。

答 ハザードマップは地域の災害リスクを把握する重要な資料であるが、安全と危険を線引きするものではなく、マップに示されていない場所でも災害が発生する可能性について周知が必要であると認識している。市民が自らの避難行動を考える防災情報として活用できるよう啓発に努める。

問 毎年自主防災訓練を実施されているが、地域の災害リスク等を知ることは全世代で必要である。特に子どもたちは、災害に関する正しい知識や自ら命を守る行動を身につけることが重要と考えるが、子どもへの防災教育について問う。

答 市内全小学校の5年生を対象にハザードマップを活用した学習や災害時の避難行動を考える学習に取り組んでいる。今年度はモデル校において、気象キャスターを講師に迎え、災害時の行動計画表づくりを予定している。今後も児童が防災を自分事として捉えられるよう内容の充実を図っていく。

要望 子どもが防災を学ぶことで家庭や地域に防災意識の波及効果も期待できる。学校での防災教育の充実を要望する。

届出避難所制度の創設



問 避難所数に関する課題を問う。

答 公共施設の再編に伴い、避難所の再編も行っており、想定避難者数の収容に足る面積を確保できている。今年度からは、町会等が自主的に開設する避難所を事前登録する届出避難所制度を創設した。

要望 近年の災害を顧みると、想定していた被害だけでなく、停電、断水、下水道・道路の寸断、避難所、要配慮者への対応など、複数の問題が同時に発生する。近年の災害の教訓を改めて検証し、市としてできること、不足していること等、優先順位をつけて必要な改善を図っていただきたい。また、訓練をして終わりではなく、訓練で見つかった課題を計画やマニュアルに反映し、検証を繰り返すことで実効性を高めていただきたい。災害はいつ起こるかわからない。市民の生命を守ることを最優先に、より実効性のある防災体制の構築を強く要望する。

令和８年第３回定例会の議決結果



▶議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。
▶賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。
▶討論を行った議員は「討」と表記しています。
▶会派に属さない議員は「個人」と表記しています。

議案番号	議案名	議決結果	政新会					大阪維新の会						公明党		日本共産党		個人
			山下亜緯子	奥山 渉	乾 一	山口 由華	田中 秀昭	鶴田 将良	榊田 和之	小宮 早苗	嶋谷 一成	峯 弘之	山本 修広	中村 保治	大木 留美	橋本 満夫	江村 淳	島野 友子
報告第　８号	専決処分報告について 「令和８年専決第４号　損害賠償の額の決定について」	報告	議長	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
報告第　９号	専決処分報告について 「令和８年専決第５号　損害賠償の額の決定について」	報告		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
報告第１０号	令和７年度決算に基づく柏原市健全化判断比率の報告について	報告		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
報告第１１号	令和７年度決算に基づく柏原市資金不足比率の報告について	報告		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
議案第６２号	有功者表彰推薦について	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６３号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６４号	柏原市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６５号	柏原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６６号	令和８年度柏原市一般会計補正予算（第３号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６７号	令和８年度柏原市一般会計補正予算（第４号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６８号	令和８年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　１号	令和７年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○討	○	○討	○	×討	×	○
認定第　２号	令和７年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　３号	令和７年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　４号	令和７年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　５号	令和７年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　６号	令和７年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第　７号	令和７年度柏原市下水道事業決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第１号	柏原市議会委員会条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

次回　令和８年第４回定例会の案内



月　日	会　議　名	内　容
11月24日(火)	本　会　議	議案説明
12月 8日(火)	本　会　議	個人質疑・質問
12月 9日(水)		
12月11日(金)	総務産業委員会	付託議案審査
12月14日(月)	厚生文教委員会	付託議案審査
12月18日(金)	本　会　議	委員長報告・採決

※会議は午前10時から始まります。※日程は変更する場合があります。

本会議（討論）



議案審議に関する討論等、詳しい内容は、下の二次元コードの本会議最終日の YouTube からご覧いただけます。



陳情の取扱いについて



▶快速列車停車に関する陳情書

この陳情は、「**議長預かり**」となりました。

▶柏原市議会（議員の皆様）に対して、柏原市職員の役職定年制度に係る特例任用の運用についての調査・確認を求める陳情書の提出について

この陳情は、「**議長預かり**」となりました。

表紙のおはなし



11月号の表紙は、「芝山」です。
日本遺産に関する詳しいお話は、右の二次元コードから YouTube でご覧いただけます。



▲たつかめヒストリア
『～芝山編～』

かわら版だより
No.237
令和８年11月号
編　集：柏原市議会広報委員会
委員長：大木 留美　　副委員長：山口 由華
委　員：嶋谷 一成　江村 淳　中村 保治